



# 鷹狩について調べるには

〒335-0021 戸田市大字新曽1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

むかし、戸田市付近は「戸田筋のお鷹場」と言われて、將軍家の狩猟場になっていました。中でも徳川家康は、戸田筋での鷹狩りを好み、この地を何度も訪れたという記録が残っています。そこで今回は、「お鷹場」や「鷹狩り」について調べる方法を紹介します。

## 「鷹狩り」について調べるためのキーワード

鷹狩り、御鷹場、御鷹所、御鷹匠、狩猟場、戸田筋、御拳場、御借場、鳥見役、放鷹、鷹飼  
オンライン目録(OPAC)やインターネット、各種データベースを検索する際、参考にしてください。

## 入門的な情報源

- 「鷹狩」の概要は百科事典[分類 R031]や日本史の辞典[分類 R210]で調べることができます。一例として、以下のような資料があります。 下記の資料は本館2階参考資料室にあります。

書名	出版者	出版年	分類
『世界大百科事典』 17	平凡社	2007	R031
	p.183-184 鷹狩: 国内外の鷹狩りの歴史が載っています。 p.192 鷹匠: 鷹匠の役割と歴史が載っています。		
『日本大百科全書』 14	小学館	1987	R031
	p.627-629 鷹狩: 国内外の鷹狩りの歴史と狩猟法が載っています。		
『国史大辞典』 9	吉川弘文館	1988	R210.0
	p.9 鷹狩: 主に国内の歴史と狩猟法が載っています。カラーページには鷹狩の様子を描いた絵巻、屏風絵などの紹介もあります。		

## テーマの棚に行って本を探す

- 図書館の本は一冊ずつ分類記号がついています。棚の本は分類記号の番号順に並んでいます。「鷹狩り」に関する分類記号は以下の通りです。 ※これがすべてではありません。

### 「鷹狩り」に関する主な分類記号

210.5	近世史	488.7	ワシタカ目、猛禽類	
646	飼鳥	659	狩猟	787.6 遊獵、鷹狩

- 「鷹狩り」に関する資料の一部は、本館2階郷土特集棚「鷹場」の中に別置してあります。

## 郷土特集棚「鷹場」にある本いろいろ

●本館2階郷土特集棚には、鷹狩り、鷹場、鷹についての関連資料を集めたコーナーがあります。

一例として、以下のような資料があります。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
たかじょう 『鷹匠の技とところ』	白水社	2011	T787.6	本館2階・郷土資料室
	日本における鷹狩りの歴史、鷹の調教方法を紹介したもの。			
ほうよう 『江戸幕府放鷹制度の研究』	吉川弘文館	2008	T787.6	本館2階・郷土資料室
	江戸幕府の放鷹制度と政治的・社会的意義について述べたもの。			
おたかば 『御鷹場』	埼玉新聞社	1981	T787.6	本館2階・郷土資料室
	日本における鷹狩りの歴史、鷹場制度について述べたもの。			
『鷹と将軍』	講談社	2009	T210.5	本館2階・郷土資料室
	徳川家康、綱吉、吉宗と鷹狩りとの関係を紹介し、徳川社会の贈答システムについて述べたもの。			
ほうよう 『放鷹』	吉川弘文館	1983	T787.6	本館2階・郷土資料室
	昭和6年宮内省式部職が編纂したものの復刻版。鷹狩りの歴史、調教方法、鷹類の研究などをまとめたもの。			

## 「戸田市」に関する本から探す

●戸田市に関する資料を集めた棚にも、「鷹狩り」について記述のある本があります。

一例として、以下のような資料があります。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史 通史編』 上	戸田市	1986	T213.4	本館2階・郷土資料室ほか
	p.806-848 鷹場と戸田筋の村々：江戸時代の鷹場制度についての概要と、戸田における鷹場についての記述があります。			
『戸田むかし史ある記』	戸田市	1983	T213.4	本館2階・郷土資料室ほか
	p.85-86 鷹場：鷹場についての概要がわかります。			
『戸田のむかしばなし』	戸田市	1993	T388.1	本館2階・郷土資料室ほか
	p.16 第三話：将軍家の鷹場になっていた美女木村でのエピソード「鶴ではなかった話」が紹介されています。			
『将軍家の鷹場 ～戸田筋～』 郷土博物館第30回特別展図録	戸田市立郷土博物館	2014	T069.9	本館2階・郷土資料室ほか
	鷹狩りや鷹場についての概要のほか、展示に使用した資料の写真が掲載されています。			